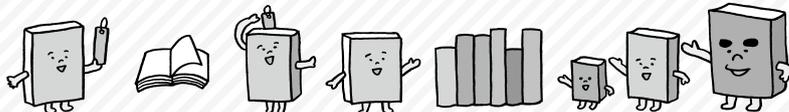


Let's go to the library

図書館へ 行こう! 3月号



木々や花々が芽吹きはじめ、春の訪れを感じる季節になりました。暖かくなってくると心が浮き立ちますが、3月は区切りや旅立ちの季節でもあります。卒業、異動、引越しなど大きな転機を迎える人も多いのではないでしょうか？ 図書館では新しい旅立ちを応援する本をご用意しています。ご来館の際にはぜひお手に取ってご覧ください。

今月の読み聞かせ

おはなしひろば	毎週火曜日	10:30~11:00
おはなしルーム	竹田幼稚園	3月 7日(木) 14:00~14:30
	南部幼稚園	3月14日(木) 14:00~14:30
たけのこ文庫のおはなし会	3月 9日(土)	15:00~15:30

開館のご案内

- 竹田市立図書館 (TEL&FAX 63-1048)**
開館時間 午前10時~午後6時 / 休館日 月曜日・第4金曜日
- 荻駅交流館図書室 (TEL&FAX 68-2200)**
開館時間 午前10時~午後6時 / 休館日 土・日・祝日等
- 久住図書室 (TEL 76-0717 / FAX 76-0724)**
- 直入図書室 (TEL 75-2211 / FAX 75-2217)**
開館時間 午前8時30分~午後5時 / 休館日 土・日・祝日等

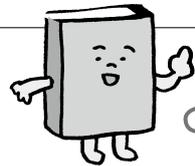
新刊のご案内

【一般書】

- ・一線の湖 [講談社] 砥上 裕将
- ・墓じまいラプソディ [朝日新聞出版] 垣谷 美雨
- ・人間標本 [KADOKAWA] 湊 かなえ
- ・予幻-ボディガード-キリー [徳間書店] 大沢 在昌
- ・四重奏 [光文社] 逸木 裕
- ・愛憎の日本史 [扶桑社] 本郷 和人
- ・知識ゼロからの新 NISA活用術 [幻冬舎] 前田 信弘
- ・パンダを飼ったらいくらかかる? -妄想お金ガイド- [日経ナショナルジオグラフィック] 北澤 功
- ・最新スマホとネットのルール&マナー事典 [秀和システム] 野田 コウキ
- ・15歳-サッカーで生きると誓った日- [徳間書店] 梅崎 司

【児童書】

- ・まほうのアブラカタブレット [PHP研究所] 如月 かずさ 作 / イシヤマ アズサ 絵
 - ・とらまる、山へいく-やまの動物病院2- [徳間書店] なかがわ ちひろ
 - ・10分でおもしろい源氏物語 [世界文化ブックス] 紫式部 原著 / 時海 結似 著 / 山本 淳子 監修
 - ・MINECRAFTはみだし探検隊、ネザーへ! [竹書房] デライラ・S.ドーン
 - ・るるぶ毎日5分でまなびの種まき かがくのおはなし [JTBパブリッシング] 辻 健 監修
 - ・算数ひみつの7つ道具-小学校で習う計算が5秒で解ける- [かんき出版] あきとんとん
 - ・夏井いつきと深める季節のことは辞典 [Gakken] 夏井 いつき 監修
 - ・君たちはどう生きるか [徳間書店] 宮崎 駿 原作・脚本・監督
 - ・おばけのまよなかアイス [文芸社] かな
 - ・オニのサラリーマン じごくのしんにゅうしゃいん [福音館書店] 富安 陽子 文 / 大島 妙子 絵
- 他 250冊ほど入りました。



司書おすすめの一冊

一般書

「文庫旅館で待つ本は」

名取 佐和子 筑摩書房



戦前から続く老舗旅館・風屋の名物は、さまざまな古書が揃った文庫=図書コレクション。少しばかり“鼻が利きすぎ”な若女将がすすめてくれる「お客様と同じにおい」を纏った文豪たちの小説が、さまざまな事情を抱え訪れる人の人生を揺らす。海辺の老舗旅館を舞台に、川端康成などの文豪たちによる名作が人の縁を繋いでいく、連作短編集です。

児童書

「あたしデイズ」

いとう みく 作 / 平澤 朋子 絵 新日本出版社

移動教室が楽しくなるかならないかは、だれと同じ班になるかにかかっている。あたしはガッコとコマリといっしょのつもりだったのに、変わりものの三軍の子たちといっしょになってしまった。しかもガッコとコマリもなんだか感じわるくて…。いっぱい間違いながら、伝えることの難しさ、大事さを描く物語です。



読み聞かせにおすすめの一冊

「おやすみレストラン おすしやさん」

misato. 岩崎書店

もりのおくにあらわれる、おやすみレストラン。そこはどうぶつたちがねむりにつく、ふしぎなレストラン。きょうもいっぱいあそんだら、おすしにはいっておやすみなさい…。子どもの白くまたちが、おすしを布団や寝袋に見立てて眠るまでを、くすくす笑える動きや楽しいオノマトペで描いた絵本です。



「おまえうまそうだな さよならウマソウ」

宮西 達也 ポプラ社



年老いてたおれたティラノサウルスを、アンキロサウルスがたすけてくれました。「こまっているひとがいたら、たすけるのはあたりまえでしょ」そう言っただけで赤い実をとってきてくれるアンキロサウルスは実は…。『おまえうまそうだな』の20年後を描く、せつない再会の物語。